

日本美術教育連合「造形・美術教育力養成講座」について（第二次案内）

事務局担当理事 奥村高明

「日本美術教育連合」は内閣府の承認を得た造形・美術教育にかかわる唯一の公益社団法人です。公益事業として、毎年連続講座を実施し、子どもと造形表現をめぐって理解を深め、講義と演習を通して教育実践力を高める講座を行っています。第4期は、美術及び美術教育について幅広い視点からとらえ直すために、「越境し、拡張する美術鑑賞」をテーマに講座の内容を企画しました。2/3以上を受講し、規定を満たした参加者には、公益社団法人 日本美術教育連合からの「認定書」を授与します。どうぞ、奮ってご参加ください。

1. 対象：幼保・小・中・高・大学教員、学生、院生、美術館関係者、画塾経営者、連合会員
2. 第4期テーマ：「美術教育ワークショップ ―越境し、拡張する美術鑑賞―」
3. 日程及び内容等：1講座2コマ（90分×2）で構成し、全体で4講座（合計8コマ）を開催します。
 - (1) 第1回講座 「アートと社会のこれからの関係を考える」
 - ① 日時：2018年12月9日（日）講演13：00～14：30 ワークショップ14：40～16：100
 - ② 場所：アマナ（天王洲アイル本社1F研修室）東京都品川区東品川2丁目2-43 ※会場の関係で定員20名
 - ③ 講師：上坂真人先生（アマナ執行役員）
 - ④ 内容：上坂先生は、広告写真等の制作、ストックフォトの企画販売など世界的な企業アマナの執行役員として、企業とアートを結び付けるだけでなく、アートを通して地域文化の創造に取り組んでいます。美術作品の飾られているアマナ本社の研修室を使ってビジネスと美術に関する講演とワークショップを行います。
 - (2) 第2回講座 「社会に開かれる芸術」
 - ① 日時：2019年1月13日（日）
 - ② 場所：武蔵野美術大学三鷹サテライト（予定）
 - ③ 講師：杉浦幸子先生（武蔵野美術大学）
 - (3) 第3回講座 「ポストモダン以降の美術制作と鑑賞 -【風景芸術】を巡って」
 - ① 日時：2019年2月3日（日）午後
 - ② 場所：聖心女子大学（予定）
 - ③ 講師：田窪恭治先生（美術家）
 - ④ 講師の田窪恭治先生は、サン・ヴィゴール・ド・ミュー礼拝堂の再生プロジェクト（林檎の礼拝堂）によって、フランス政府より芸術文化勲章（オフィシエ）を受賞された日本を代表する美術家です。近代から現代へ至る時間帯の中で、日常性を基軸とした美術作品／行為が拡張しつつありますが、今回の講座ではキーワード【風景芸術】を軸に、講義とワークショップによって「深い学び」体験を共有します。
 - (4) 第4回講座 「生産ラインから発想を広げる鑑賞」
 - ① 日時：2019年3月予定
 - ② 場所：未定
 - ③ 鑑賞という概念を広げれば、人は常に鑑賞しているといえます。工場（工房）という空間も、鑑賞対象の一つ現場です。現在、生産ラインの現場から発想を広げる鑑賞講座を企画中です。
4. 参加方法等
 - (1) 近日中に日本美術教育連合HPにおいて、「申し込み方法」と「未定の内容・場所のお知らせ（随時更新）」を掲載します。『InSEA-公益社団法人日本美術教育連合』で検索してください。
5. 参加費
 - (1) 1回の講座あたり4,000円（日本美術教育連合会員・学生・院生は、2,000円）
6. ご不明な点等は 事務局 日本体育大学 奥村高明（okumura@nittai.ac.jp）まで